



国府台コンソーシアム

国府台コンソーシアムは市川市国府台地区及び近隣の教育機関と医療機関が連携し、相互の発展と地域の活性化に資するべく2017年12月に設立されました。参加機関は千葉商科大学、和洋女子大学、東京医科歯科大学教養部、千葉商科大学付属高等学校、和洋国府台女子中学校高等学校、千葉県立国府台高等学校、市川市立第一中学校、市川市立国府台小学校、筑波大学附属聴覚特別支援学校、国立国際医療研究センター国府台病院、市川市です。年1回総会を開催し、活動についての評価、新たな取組みなどについて意見交換を行うとともに、具体的な活動は幹事会を設け、推進しています。



大学コンソーシアム市川

大学コンソーシアム市川は千葉県市川市に所在する5つの高等教育機関(千葉商科大学、和洋女子大学、東京医科歯科大学教養部、昭和学院短期大学、東京経営短期大学)が、教育資源や機能等の活用を図りながら幅広い分野で相互に連携協力し、教育研究の質的向上を図り、地域社会の発展に資することを目的として、2018年11月に設立しました。さらに、市川市の発展を目的とした地域課題の解決に対し協働して取組むため、大学コンソーシアム市川は、市川市、市川商工会議所と産官学連携包括協定を締結し、大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォームを形成しました。



CUC 地域連携フォーラム

地域社会に期待される大学として成長する事を目的に、2010年度より「地域連携推進会議」(地域の産学官民を代表する方々で構成)と「CUC地域連携フォーラム」を開催しています。「CUC地域連携フォーラム」では、地域連携推進センターにおける1年間の事業活動を総括して報告するとともに、地域連携のあり方や大学の使命、センターに寄せる期待や要望について、市民をはじめ学内外の関係者からご意見をいただく機会としています。また、いただいたご意見を今後活かしていくことは勿論のこと、関係者や市民の方々に本学の地域連携活動について共通の理解を深めていただく機会としても活用しています。

JR総武線 市川駅…

バス10分。北口京成バス1番のりばから松戸方面行き、[和洋女子大前]下車。または徒歩20分

JR常磐線 松戸駅…

バス20分。西口京成バス1番のりばから市川駅行き、[和洋女子大前]下車。

京成線 国府台駅… 徒歩10分。

北総線 矢切駅…

バス10分。京成バス市川駅行き、[和洋女子大前]下車。

千葉商科大学 地域連携推進センター(社会連携推進課)

〒272-8512 千葉県市川市国府台 1-3-1
TEL.047-320-8667 FAX.047-373-9958
E-mail. cucr@cuc.ac.jp



URL. <https://www.cuc.ac.jp>

千葉商科大学 地域連携推進センター

主要事業の紹介

本紙では地域のニーズに対応した生涯学習・社会人教育、小学生を対象とした教育プログラムや学生のボランティア活動など、市川市との包括協定を核としたセンターの多彩な事業活動をご紹介します。

主要事業の紹介

本紙では地域のニーズに対応した生涯学習・社会人教育、小学生を対象とした教育プログラムや学生のボランティア活動など、市川市との包括協定を核としたセンターの多彩な事業活動をご紹介します。 ※詳細は本学Webサイトをご確認ください。

地域活動団体とつながるための主要事業

履修証明制度 「CUC市民活動サポートプログラム」



「CUC市民活動サポートプログラム」は、コミュニティビジネスや地域密着型ビジネス等を行う企業や団体で活躍する方、市民活動やNPO等の団体と中間支援組織スタッフを対象に、経営・マーケティングの知識と運用スキルを提供する履修証明プログラムです。文部科学大臣より「職業実践力育成プログラム(BP)」に認定されており、修了時には履修証明書と「千葉商科大学認定市民活動エンハンサー」の称号を授与します。

地域志向活動助成金

2019年の活動の様子



地域を志向した教育研究・社会貢献に資する活動を支援する制度で、学内外の研究者や学生、一般社会人を問わず、一定条件の下にどなたでも申請していただくことができます。学外者の申請には学内の教員がアドバイザーにつく形でマッチングされ、2020年度は学外者による4件の活動が助成されました。過年度分のうち、複数の活動が新聞等メディア掲載され、助成終了後も活動・関係が継続している事例もあります。

CUCリンクルーム (地域活動推進室)の無償開放



「CUCリンクルーム」(地域活動推進室)は、登録すれば、地域住民も利用可能なフリースペースとして2018年12月にリニューアルオープンしました。大学教員・学生のサポートや子ども用プレイエリアのほか、ミーティングスペース(6人掛けテーブル×3、4人掛け丸テーブル×3、ホワイトボード)、ノートPC、プリンタ(コピー機)、プロジェクタ、スクリーン、Blu-rayプレーヤー、モニターなども無償貸出しています。

地域の子供たちとつながるためのイベント

CUCキッズ大学



近隣の小学生を対象とした語学やスポーツ等の有料講座(1回60~90分/500円)で、野球、バドミントン、少林寺拳法、テニス、チアダンス、社長(簿記)、英会話等のスクールがあります。指導は各運動部の学生や大学講師が担当し、子供たちは、大学生等のサポートを受けながら、興味や関心のある学びやスポーツに挑戦します。大学生の優しく丁寧な指導は子供たち大変好評で、人気の高い事業となっています。

キッズビジネスタウン®いちかわ



「キッズビジネスタウン®いちかわ」は、子供たちが街を運営し社会のしくみや経済活動を体験から学ぶ商業教育であり、2日間で延べ千人以上の児童が参加します。子供たちは、求人情報を見て仕事に参加し、働くことを通して得たお給料をタウン内通貨で受け取り、買い物や食事、ゲームなどを楽めます。本イベントは学生が中心となり運営しており、千葉県・市川市・江戸川区の教育委員会の後援も受けています。

センター長 挨拶

千葉商科大学地域連携推進センターは、従来の地域連携・ネットワークセンターに代わり、2015年度より設置されました。千葉商科大学の創設者遠藤隆吉博士は「治道家」(大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する高い倫理観を備えた指導者)を育成するため、実学教育を重視していました。その伝統を踏まえ、とりわけ近年では「やってみる、という学び方。」をスローガンにプロジェクト型学習(PBL)は全5学部に広がりを見せ、地域に関連したプロジェクトも数多く進行しています。地域連携推進センターは、そうしたプロジェクト型学習(PBL)で蒔かれた「一粒の麦」をより豊かに実らせるために、予め周囲(地域)を耕しておくことが本来の役割であると認識しています。それに加え、地域の拠点大学として、地域の人々と「一緒に学び」、「相互にふれあい」、「協働で行なう」ことによって「地域が頼れる大学」、「地域とともに生きる大学」となることを目標に活動を続けてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



事業の趣旨

公開講座のように、大学の「知」を地域社会に一方向的に発信することが主体の従来型の地域連携方法では、多様な現代社会の価値観にそぐうことは難しくなってきました。そこで、地域連携推進センターでは「地域が頼れる大学」、「地域とともに生きる大学」となるべく、まずは、市民の地域活動をともに支えることで、「市民が気軽につながれる大学」が近くにあるという新たな価値の創出に挑むことになりました。具体的には地域活動団体の経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)を全て提供して地域活動団体とつながってこうと考えております。そのために、地域志向活動助成金制度(ヒト・カネの提供)、CUC市民活動サポートプログラム(情報の提供)、CUC地域連携推進室の無償貸出(モノ・場所の提供)という3つの具体的施策を通じて、従来の大学にない全く新しい形での市民との関係構築を進めています。さらに、海外留学同様に国内における「地方留学」に補助金を出すことで学生の地域に対する関心を呼び起こす国内研修プログラム、公開講座等の従来型の地域連携活動、地域の子供たち向けのイベントの主催、2つのコンソーシアムを通じた地域交流と合わせて、地域と大学の新しいつながり方を模索し続けます。

地域とつながるための公開講座

CUC中小企業マネジメントスクール



近年、生活圏等の身近な地域社会で中小企業の役割が増大している中、企業には消費者、関連企業、行政や大学等と協力・連携しながら、商品開発やサービス向上へのイノベーションが求められています。スクールでは、意欲的かつ個性的な経営で優れた実績をあげている中小企業の経営者等を招聘した実効性のある講義と異業種交流会を行っています。経営者や幹部社員、起業を目指す社会人など多数が受講しています。

公開授業 [福祉論] 認知症サポーター養成講座



「福祉論」(齋藤香里商経学部准教授担当)の中で行われる「認知症サポーター養成講座」を広く一般市民の方々にも開放しています。本講座は市川市福祉部地域支えあい課の協力を得て、開講しており、当該回の講師は市川市地域包括センターの認知症コーディネーター(キャラバンメイト)が担当して、DVDや簡単なゲームなどを通して、認知症に関する基本的な知識や対応についての理解を深めています。

いちかわ市民アカデミー講座



いちかわ市民アカデミー講座は、大学コンソーシアム市川を通じた、市川市からの委託による市民のための生涯学習支援事業です。大学の持つ専門性や高度な教育環境の中で、市民が新しい知識を修得するとともに、超高齢社会の到来で、社会保障制度や高齢者の孤立が社会問題化する中、いつまでも健康で希望を持って暮らしていただくことを目的として、主に本学教員が講師となり専門分野から講義を担当しています。

災害危機管理講座



災害対策の基礎知識等を知り、災害に対する意識を高めるべく、市川市との包括協定のもと市との協働で開講しています。災害の観点から、報道・歴史文化・気象等多方面の切り口で災害の対応策や減災についての講義が行われる他、消防局等の協力を得て、煙中脱出訓練や包帯の巻き方などの実技訓練を実施し、最終日には市の防災リーダーとしての活躍に期待して、市川市危機管理監から「修了証書」が手渡されます。

学生の地域に対する関心を呼び起こすための活動

国内研修費補助金制度

さとのば大学との調印式



地域でのプロジェクトやインターンシップ参加を通じて、地域との関わりや成し遂げる力を身に付けることを目的としている制度です。地域連携推進センター及び提携する機関等が実施する国内の研修、地方におけるワーキングホリデー制度、地域インターンシップ、地域活動(プロジェクト)等を国内研修プログラムと位置づけ、参加学生は海外留学と同様、研修参加費及び往復交通費の3分の1程度の補助が受けられます。